

かまくら

【作詞】芳賀矢一
【作曲】文部省唱歌

□□□□

- 一、
七里ヶ浜（しちりがはま）の いそ伝い（いそづたい）
稲村ヶ崎（いなむらがさき） 名将（めいしょう）の
剣投ぜし（つるぎとうぜし） 古戦場
- 二、
極楽寺坂（ごくらくじざか） 越え行けば
長谷観音（はせかんのん）の 堂（どう）近く
露座の大仏（ろざのだいぶつ） おわします
- 三、
由比の浜辺（ゆいのはまべ）を 右に見て
雪の下村（したむら） 過ぎ行けば
八幡宮（はちまんぐう）の 御社（おんやしろ）
- 四、
上るや（のぼるや）石の きざはしの
左に高き 大銀杏（おおいちよう）
問わばや遠き 世々の（よよの）跡
- 五、
若宮堂（わかみやどう）の 舞の袖（まいのそで）
しずのおだまき くりかえし
かえせし人を しのびつつ
- 六、
鎌倉宮（かまくらぐう）に もうでては
尽きせぬ親王（みこ）の みうらみに
悲憤（ひふん）の涙 わきぬべし
- 七、
歴史は長き 七百年（しちひゃくねん）
興亡（こうぼう）すべて ゆめに似て
英雄墓（こけむしぬ）
- 八、
建長（けんちょう）円覚（えんかく） 古寺（ふるでら）の
山門高き 松風に
昔の音（な）や こもるらん

かまくら

【作詞】芳賀矢一
【作曲】文部省唱歌

□□□■

一、 七里ヶ浜 (しちりがはま) の

いそ伝い

稲村ヶ崎

名将の

剣投ぜし (しなをうけおこ)

古戦場

二、

極楽寺坂

越え行けば

長谷観音の

堂 (どう) 近く

露座の大仏 (ろざのだいぶつ)

おわします

かまくら

【作詞】芳賀矢一
【作曲】文部省唱歌

□□■ ■

三、

由比の浜辺（ゆいのはまべ）を

右に見て

雪の下村（したむら）

過ぎ行けば

八幡宮の

御社（おんやしろ）

四、

上るや（のぼるや）石の

きざはしの

左に高き 大銀杏（おおいちよう）

問わばや遠き

世々の（よよの）跡

かまくら

【作詞】芳賀矢一
【作曲】文部省唱歌

五、

若宮堂

(わかみやどう)

の

舞の袖

(まいのそで)

しずのおだまき

くらがえし

かえせし人を

しのびつつ

六、

鎌倉宮

(かまくらぐう)

に

もうでては

尽きせぬ親王

(みこ)

の

みづらみに

悲憤

(ひふん)

の涙

わきぬべし

かまくら

【作詞】芳賀矢一
【作曲】文部省唱歌

七、

歴史は長き

七百年

(しちひゃくねん)

興亡

(きうへい)

すべて

ゆめに似て

英雄墓は

こけむしぬ

八、

建長

円覚

古寺

(ふるでうら)

の

山門高き

松風に

昔の音や

こもるらん